



エリナ・プロテルス 個展 / A Solo Show by Elina Brotherus



©Elina Brotherus, film still from Event for the Midnight (after Mieko Shiomi), Courtesy of Yumiko Chiba Associates

会期:2019年2月12日(火) - 3月9日(土)

会場:Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#206
営業時間:12:00-19:00 定休日:日、月、祝日

オープニングレセプション:2月16日(土) 18:00 - 20:00

トークイベント:2月13日(水) 19:00 - 20:00

※エリナ・プロテルス x 港 千尋(写真家/著述家)

このたび、Yumiko Chiba Associates ではフランスとフィンランドを拠点とし活躍する女性写真家・ビデオアーティスト、エリナ・プロテルスの個展をいたします。

エリナ・プロテルスは、風景とセルフ・ポートレートを主なモチーフとして制作していますが、フランスへの移住によって起きた変化、自らの結婚と離婚や不妊症の治療の過程を日記のように撮影するなど自身の日常生活の中で起きたことを反映させた自伝的作品と、フリードリヒやセザンヌといった歴史的な作家たちの絵画作品の構図やモチーフを下敷きに制作した美術史的な作品といった両極の間を交互に行き来し、多面的なアプローチによって制作を続けています。またそこには、人間と風景、アーティストとモデルといった関係性が常に取り扱われてきました。現在は、フルクサスのイベントスコアや 1950年代から70年代に派生したパフォーマンスアートのために書かれた指示書を再考した作品を展開しています。

フランスのポンピドゥーセンター(2017年「Règle du jeu: Carte Blanche PMU」)、フィンランドの Serlachius Museums(2018年「Playground」)などヨーロッパの重要な美術館ですでに多くの個展が行われており、Centre Pompidou, Paris, Centre National des Arts Plastiques (CNAP), France, Kiasma Museum of Contemporary Art, Helsinki, Moderna Museet, Stockholm, Museum Folkwang, Essen, Saatchi Collection, London and MAXXI, Rome など、作品のパブリック・コレクションは65にも及びます。

日本では、最初の個展が2003年に Cassina Art Project として行われた後、2008年に国立新美術館の「アーティスト・ファイル 2008—現代の作家たち」に参加して以降10年ぶりの個展となります。

今回の展覧会では、日本では初公開のビデオ作品を、初期の頃と最近制作された作品とを合わせてご覧頂きます。特出すべきは、その中の展示作品の一つ、「タンゴトラウザーズ」はフィンランドを代表するアコーディオニスト、マリア・カラニエミとのジャンルを超えたコラボレーションから生まれた作品で、エリナは8つのビデオを制作し、マリアにそのための全く新しい曲を作るように依頼しました。こちらは、本展会期中に行われるマリアの来日公演に合わせて展示されるものです。

作家の来日に伴い、写真家であり著述家でありキュレーターであり、多彩な活動を続ける港千尋氏とのトークイベントを行います。この機会にぜひ併せてご来場ください。

**■オープニングレセプション**

日時:2019年2月16日(土) 18:00 - 20:00 *展覧会初日ではありませんのでご注意ください。

会場:Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

■トークイベント「風景論-フィンランドと日本の出会い」

日時:2月13日(水) 19:00 - 20:00

会場:Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

登壇者:エリナ・プロテルス x 港 千尋(写真家/著述家)

※事前申込制、日本語通訳あり 参加費:無料

【お申し込み方法】

件名「トークイベント参加」、本文に、参加人数、お名前、電話番号をご明記のうえ、event@ycassociates.co.jp までメールでお申し込みください。

*定員(20名)になり次第、受付を終了いたします。

*ギャラリーからの返信メールが届かない場合は、営業時間内にお問合せください。

■作家プロフィール

エリナ・プロテルス(写真家/ビデオ・アーティスト)

1972年、ヘルシンキ生まれ。1997年にヘルシンキ大学大学院を、2000年にヘルシンキ芸術デザイン大学(現在のアルト大学)大学院を卒業。1997年より写真と映像を駆使した作品を制作し始めて以来、フィンランドとフランス二つの国を拠点に国内外で広く活躍している。

風景とセルフポートレートを主なモチーフとし、内省的な自伝的作品や美術史を下地にした作品を制作している。

the Carte blanche PMU, France (2017), Finnish State Prize for Photography (2008), Prix Niépce, France (2005), and Carnegie Art Award's Prize for Young Artist (2003)といった重要な芸術賞をこれまで多数受賞。

■登壇者プロフィール

港 千尋(みなと ちひろ)(写真家・著述家)

多摩美術大学情報デザイン学科教授。文明論的テーマをもちつつ、研究・出版・展覧会など幅広い活動を続けている。『記憶・創造と想起の力』でサンクトリー学芸賞、写真展<市民の色>で伊奈信男賞を受賞。著書・写真集に『芸術回帰論』(平凡社新書)『掌の縄文』(羽鳥書店)『革命のつくり方』(インスクリプト)など多数。最新刊に『風景論-変貌する地球と日本の記憶』(中央公論新社)。国際展のディレクションやキュレーションも手がけ、あいちトリエンナーレ 2016 では芸術監督を務めた。

■「タンゴトラウザーズ」コラボレーション

マリア・カラニエミ(アコーディオン・アーティスト)は、フィンランドの代表的なコンテンポラリーアコーディオニストの一人であり、演奏者として技術的に素晴らしい、インプロビゼーションにたけ、力強く、直観的でセンシティブな作曲家として知られている。マリアの曲は、多面的なスタイルを持つと同時に彼女のパーソナリティーを深く感じさせられるもので、そのメロディには深いメッセージが含まれている。2018年11月、フィンランド芸術振興センターの国立音楽評議会により国家音楽賞を受賞。

今回の来日公演日程は以下の通り。

2019年2月13日-17日

2/13(水) 19:30 新潟 Jazz Flash

2/14(木) 19:30 金沢 もつきりや

2/15(金) 19:00 三軒茶屋 Salon Tessera

2/16(土) 14:30 稲毛 Candy

2/17(日) 13:00 柏 Nardis

19:30 横浜 Airegin

協力 Office Ohsawa, Embassy of Finland in Tokyo, Finnish Institute in Japan

後援 Ministry of Education and Culture Finland, Arts Promotion Centre Finland

www.elinabrotherus.com | www.mariakalaniemi.com | www.artprevolution.com



【本展に関するお問合せ】ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#205 [Tel] 03-6276-6731 [e-mail] info@ycassociates.co.jp

[website] www.ycassociates.co.jp [営業時間] 12:00-19:00 [定休日] 日・月・祝日